



現代女性とキャリア連携専攻委員会

2017年度 推薦図書リスト

①書 名：ジョコビッチの生まれ変わる食事：あなたの人生を激変させる14日間プログラム

著者：ノバク・ジョコビッチ著 タカ大丸訳 発行：三五館，2015年刊

所蔵：図書館目白A 請求記号：783.5 - Djo

杉山哲司先生（児童学科）の推薦のことば：ノバク・ジョコビッチはグランドスラムで数々の優勝、世界ランク1位連続122週在位という記録を持つ、現代を代表するプロテニス選手の一人です。世界の頂点に立つまでは、試合中に具合が悪くなることもあり、本来の力を出し切れずにいました。その原因がグルテンアレルギーであることが発覚し、食事の改善に取り組み、その結果、2011年以降の大活躍につながりました。その食事改善の効果、「食物は体にどう機能するかを伝える情報」という考え方に基づいた具体的な食事メニューと摂り方、根拠となる知見が本書で紹介されています。これらの内容は「私たちは何をどう食べたらよいか」について改めて考えさせられます。



②書 名：貧困肥満：下流ほど太る新階級社会

著者：三浦展編著 発行：扶桑社，2009年刊

所蔵：図書館目白，図書館西生田，院生活経済，食物 請求記号：498.5 - Hin

松井貞子先生（食物学科）の推薦のことば：最近、日本においても格差社会や貧困の問題が取り上げられていますが、貧困で肥満？と疑問を持たれる方も多いと思います。

しかし、世帯所得と食事内容や健康状態に差があることは明らかとなっており、貧困は健康問題にもつながっています。本書では貧困肥満の実態が紹介され、食べるもののみならず、その人の考え方から価値観までが表現されており、貧困肥満の奥深い様々な問題を知る機会になります。是非ご一読下さい。



③書 名：建築遺産 保存と再生の思考：災害・空間・歴史

著者：野村俊一，是澤紀子編 発行：東北大学出版会，2012年刊

所蔵：図書館目白，図目通信，住居 請求記号：521.8 - Ken

是澤紀子先生（住居学科）の推薦のことば：本書は、震災により風景が激変する中で、建築遺産の保存と再生の可能性について考えるべく開催した連続シンポジウムの記録です。現在まで継承されてきた建築遺産は、価値を共有し継承したいと考える人々により支えられています。それらの保存と再生の課題は、歴代の災害同様に東日本大震災でも一気に噴出しました。ただ古くて価値があれば自ずと残るというものではない、建築遺産の保存と再生の課題をときほぐすことで、私たちの身近な環境をはぐくむ手法を探っています。

④書 名：20世紀における女性の平和運動：婦人国際平和自由連盟と日本の女性

著者：中嶋邦，杉森長子編 発行：ドメス出版，2006年刊

所蔵：図書館目白，図目通信，図書館西生田，史学 請求記号：319.8 - Nij

増子富美先生（被服学科）の推薦のことば：日本女子大学叢書1として出版された本です。書名の副題にある婦人国際平和自由連盟（WILPF）は、1915年結成された女性平和団体で、本部はスイスのジュネーブにあり、世界33ヶ国に支部があります。日本支部は、1921年婦人平和協会として結成され、1924年WILPFの支部

になりました。この設立には、本学の創立者成瀬仁蔵が深く関わっています。創立者成瀬仁蔵の平和に対する考え、婦人国際平和自由連盟日本支部の歩み、女性ならではの平和への想い、平和への道のりなど、多くのことを考えさせられる本です。

⑤書 名：「全身〇活」時代：就活・婚活・保活からみる社会論

著者：大内裕和，竹信三恵子著 発行：青土社，2014年刊

所蔵：図書館目白A 請求記号：304 - Ouc

小野寺研太先生（家政経済学科）の推薦のことば：就活・婚活・妊活・保活…

しまいに終活と、人生の節目節目に「あれもやれえこれもやれえ」と、社会はあなたに迫ってきます。でもちょっと待って。そんなに努力して、しゃにむに頑張らなくてはならないのは、そもそもなぜでしょうか。「全身〇活」の先に、本当に展望はあるのでしょうか。大内・竹信両氏による、この熱の入った対談を読むと、今後迫ってくる「全身〇活」圧力のかかわし方が、見えてくるかもしれません。



⑥書名：2時間でおさらいできる源氏物語（だいわ文庫；[350-1E]）

著者：竹内正彦著 発行：大和書房，2017年刊

所蔵：図書館目白A 請求記号：913.365 - Tak

坂本清恵先生（日本文学科）の推薦のことは、『源氏物語』は日本の古典を代表する世界文学作品とされていますが、授業などで一部に触れたことはあっても、全五十四帖を読み通した人はあまりいないのではないのでしょうか？この本を読めば、日本人なら知っていて当然とされる『源氏物語』の構成・あらすじはもちろん、作品に描かれる複雑な人間模様までよく理解できます。日本文化に精通し、将来世界で活躍しようと志している人にお薦めします。さらに物語の完読を決意した人には、正確な現代語訳を原文と対照しながら読むことのできる、中野幸一『正訳 源氏物語』（勉誠出版）を推奨します。



⑦書名：プリンセス願望には危険がいっぱい

著者：ペギー・オレンスタイン [著] 日向やよい訳

発行：東洋経済新報社，2012年刊

所蔵：図書館目白A 請求記号：367.6 - Ore

馬場聡先生（英文学科）推薦のことは、『アナと雪の女王』（2013年）、『シンデレラ』（2015年）の大ヒットに続いて、この春、ディズニー実写版映画『美女と野獣』が公開されたことは記憶に新しいところだと思います。キャラクター・グッズなどの関連商品の人気もあいまって、いわゆる「ディズニー・プリンセス」は、映画の中にとどまらず、私たちの生活のあらゆるところに溢れています。本書は『ニューヨーク・タイムズ』などの媒体で活躍するフェミニズム系ジャーナリストのペギー・オレンスタインが、未曾有のプリンセス・ブームに潜む危険性をユーモア溢れる筆致で書き下ろしたものです。プリンセス系おとぎ話を単純に批判するのではなく、ディズニーという巨大な資本を後ろ盾にしたメディアのプロモーション戦略を批評するという体裁になっています。表象文化とジェンダーの在りようについて、示唆を与えてくれる良書ですので、ぜひ読んでみてください。



⑧書名：植民地の腹話術師たち：朝鮮の近代小説を読む

著者：金哲著，渡辺直紀訳 発行：平凡社，2017年刊

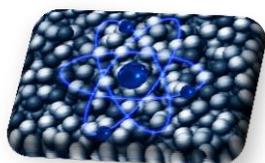
所蔵：図書館目白A，史学 請求記号：929.1 - Kim

平石淑子先生（史学科）の推薦のことは、「A国人がA国語で構想を立て、A国語で文章化する」という行為を、私たちはごく当たり前のこととして考えていますが、「B国人だったのにA国語で構想を立て、A国語で文章化すること」を余儀なくされた結果、「B国人なのにB国語で構想を立て、B国語で文章化すること」が困難となり、それに苦しんだ人々がいたことを知っていますか？日本植民地時代を経験した朝鮮と台湾の作家たちです。本書は、韓国の大学で国語・国文学を教える研究者が、その問題を韓国語の近代化と絡めて語る、やや難しいエッセイ集です。が、私たちはこのような事実を知っておかねばなりません。

⑨書名：電子と原子核の発見：20世紀物理学を築いた人々（新版）（ちくま学芸文庫；[ワ-10-1]）

著者：S.ワインバーグ著 本間三郎訳 発行：筑摩書房，2006年刊

所蔵：図書館目白 請求記号：429.6-Wei



村岡梓先生（数物科学科）の推薦のことは、電子・原子核・陽子・中性子といった、目に見えない「ミクロ」な粒子の発見は、「量子論」・「相対性理論」という学問を誕生させました。これら2つの学問は、「20世紀の物理学の2大革命」と呼ばれています。本書では、「ミクロ」な粒子の発見に関わる実験や組み立てられた理論を具体的に且つわかりやすく解説しています。著者であるスティーブン・ワインバーグ氏（1933-）は、1979年にノーベル物理学賞を受賞しています。ノーベル賞学者による20世紀物理学への格好の入門書として長年親しまれています。学問発展・発見の歴史を辿り、基礎的考えと原理の理解を深めることができる本ですので、お薦めします。

⑩書名：慣性の法則から相対性理論、量子論、超ひも理論、原子論、分子軌道論、遷移状態理論など（サイエンス・アイ新書；SIS-080. 科学理論ハンドブック50；物理・化学編）

著者：大宮信光著 発行：ソフトバンククリエイティブ，2008年刊

所蔵：図書館目白 請求記号：401 - Omi

今城尚志先生（物質生物科学科）の推薦のことは：物理学と化学の理論は難しいと感じる方々が多いのではないのでしょうか。確かに難しいです。しかし、難しい理論が伝えたい自然の摂理は時に美しく、それを理解できたときは感動的ですからあります。本書は難しい数学的記述を極力避け、記述の厳密さを犠牲にしてでも理論が明らかにした「自然の摂理」を感じて頂くための解説となっています。この機会に物理学と化学が明らかにした自然の摂理に接してみてください。

